

特
集
見
聞

聞く！
語る！

岩国祭りにブース出展

山口県建設業協会岩国支部

今年で54回目を数える『岩国まつり』に、建設業協会岩国支部がイベントブースを初出展。メイン会場の一つである子供広場（麻里布第3街区公園）に面した岩国建設会館の駐車場を会場に、建設機械に親しんでもらうための展示やゲームなどを設けました。ここでは出展に至る経緯や目的などを、建設業協会岩国支部の日野雅巳 支部長と、八木秀典 青年部長にうかがいました。

■建設業界はなぜか日陰の存在

建設業協会岩国支部では、これまで未就学児のために保育園や幼稚園に通う通園路の清掃活動を行ってきました。また、台風被害などの復旧作業は、土建業者が大車輪の活躍をしています。しかし、こうした活動を知ってもらえる機会がほとんどないのが現状です。そこで、なんとかPRの場をつくり、活動の内容を知ってもらおうとともに、建設業のイメージアップにも結びつけようと企画されたのが『岩国まつり』への出展でした。

アメをすくい取るゲームコーナーの様子



建設業の活動などをまとめたパネル展示

飛び出していくのは我々です。しかし、建設業は裏方さんというイメージが強いので、マスコミもあまり取り上げてくれません。もともと建設業に対して暗いイメージがあるのでしようね。そうなる、後継者も育ちにくくなっています。



日野支部長



八木青年部長

■イベントはイメージアップを図る絶好の場

こうした傾向は岩国支部に限らず、全国的にも同じです。これに対して、岩国支部の青年部は、建設業のイメージアップを図るための活動に取り組んできました。日野／岩国支部の青年部にはもと『二世の会』があつて、若い世代が集まって活動していました。今はほとんどのメンバーが四世になつていますが、経営の勉強会をやったり、各種の研修を行ったりしていました。このたびの岩国まつりへの参加も、彼らが中心となつて企画したものです。

■将来の建設業を盛り上げる人材づくりを

当日は、会場に小型の油圧ショベルを置き、運転席に座つて記念写真を撮るコーナーを設けました。建設機械のメーカーに協力してもらい、ラジコン模型の操縦コーナーや、アメをすくい取るゲームコーナーも設置。ミニカーのプレゼントも行いました。テーブルに並んだ建機のパネルにも、子供たちは興味津々。また、会場の一角には災害時の活動や防災への取り組みなどが描かれたポスターや、高校生から募集した歴代の建設業イメージアップポスターなどを展示してPRを



行いました。八木／子供たちに楽しい思い出をつくらせてもらつて、将来進路を決める際、今日の体験を思い出してもらい、建設業を選択肢の一つに加えてくれれば嬉しいですね。岩国には平成10年に岩国工業高校都市工学科が新設され、後継者づくりの道はできています。私たちの活動が子供たちに夢を与え、将来の建設業界を盛り上げてくれる人材づくりに結びつくよう、これからも積極的に活動していきたいと思っています。

八木さんたちの活動が、どんどん大きな輪となって広がっていくことを期待しています。